



## 伝承遊び (あんたがたどこさ・おはぎのよめいりを使った遊び)



### ●あんたがたどこさ①

「あんたが～た どこさ」と歌いながら、予め子供たちと決めたポーズでリズムに合わせて跳ねます。全ての「さ」のタイミングで、体の向きを反転して別のポーズに変えます。



### ●おはぎのよめいり

地面に線を引いて、「おはぎのよめいり」の歌に合わせてジャンプします。歌のスピードを遅くしたり、まず目を少なくしたりすれば、より易くなるため、発達に応じて楽しむことができます。



### ●あんたがたどこさ②

異年齢の子供たちをペアにします。「あんたが～た どこさ」と歌いながら、反時計回りにジャンプして移動します。「あんた」で一つ右へ、「がた」で一つ右へ、「どこ」で一つ右へ。「さ」で、時計回りに向きを変えます。



## 幼児期運動指針の視点を踏まえた工夫

●昔から受け継がれてきた歌に合わせた遊びは、道具や難しいルールがなく、年齢も問わないものが多く、異年齢での遊びに向いています。2人で息を合わせて行う面白さと、繰り返しのリズムのある遊びに、子供たちは夢中になります。遊ぶ中で、多様な動きが身に付きます。

## 保育者の声



## 『先輩から伝えられた遊びを次の世代に』

### 異年齢保育の遊びの幅を広げられる伝承遊び

・伝承遊びは、昔から先輩たちに教えていただき、後輩に伝えてきたものです。用意するものもあまりなく、狭い場所でも、友達や仲間を取り入れて遊びを広げることができます。多様な動きを経験でき、異年齢保育の中で伝えていきたいという思いから、続けています。

